

研究者・技術者のための

2日間で学ぶ特許明細書 入門講座

～「特許明細書の読み方・活用」・「特許明細書の書き方」各セッションのみのご参加も可能です～

◆開催要領◆

セッションⅠ 「特許明細書の読み方・活用」 2016年 6月 24日(金) 13:00～17:00

セッションⅡ 「特許明細書の書き方」 2016年 7月 1日(金) 13:00～17:00

■会場■ セッションⅠ・Ⅱとも 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師 ≪セッションⅠ・Ⅱとも≫ BS国際特許事務所 弁理士 阿部伸一氏

【講師紹介】昭和57年 松下電器産業(現パナソニック)入社 知的財産管理部門に所属 平成元年 弁理士登録 特定侵害訴訟の代理業務(平成17年) 平成8年 清水国際特許事務所(ジーベックグループとして現在はBS国際特許事務所を開設)にて知的財産権業務 立命館大学 大学院理工学研究科修士課程「知的所有権理論」講師(平成6年～平成8年) 沖縄国際大学法学部「知的所有権法」講師(平成15年～平成22年) 特許庁発行 産業財産権標準テキスト改訂委員会委員(平成15年) 特許流通データベース委員会委員長(平成16年～平成21年) 日経産業新聞「技術移転よろず相談」コラム担当(平成8年～平成22年) 九州大学非常勤講師(平成16年) 立命館大学知的財産本部特許顧問(平成15年～平成19年) 高知工科大学大学院起業家コース特別講義講師(平成15年～平成17年) 特許庁「意匠士意向調査・携帯電話機及び携帯型電子情報端末機委員会」委員(平成23年) 金沢大学大学院 自然科学研究科講師(平成23年～現在に至る) 経営者向け知的経営定着支援事業委員(九州経済産業局) (平成26年) ほかを歴任。

- 受講料 ● 1名(税込み、資料代含む)
≪セッションⅠ・Ⅱ 両日参加の場合!≫

正会員	49,680円(本体価格46,000円)
一般	52,920円(本体価格49,000円)

≪セッションⅠ・Ⅱ どちらか参加の場合!≫

正会員	32,400円(本体価格30,000円)
一般	35,640円(本体価格33,000円)

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛 E-mailにてお送り下さい。
以下の当会ホームページからもお申し込みいただけます。後日、
(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

- *よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認ください。
[公開セミナー] → [よくあるご質問]
- *お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。
- *最少催行人数に満たない場合には、中止とさせていただきます。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局
(担当) 鈴木 E-mail: a-suzuki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3550 FAX: 03-5215-0951

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

【申込書】 FAX: 03-5215-0951

↓ ご希望日程に「○」をご記入下さい。

<input type="checkbox"/> <お勧めです!> セッションⅠ・セッションⅡ 両日参加 [161348-1010]			
<input type="checkbox"/> セッションⅠ(特許明細書の読み方・活用編6/24)のみ参加 [161261-1010]			
<input type="checkbox"/> セッションⅡ(特許明細書の書き方7/1)のみ参加 [161262-1010]			
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所属 役職	
E-Mail			
ふりがな ご氏名		所属 役職	
E-Mail			
ふりがな ご氏名		所属 役職	
E-Mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

6月24日
(金)

セッションⅠ <特許明細書の読み方に関する“押さえるべきコツ”について解説>

特許明細書の読み方・活用 入門講座～特許情報の読み方と活用の仕方をマスターする～

13:00

1. 特許明細書の活用（自らの発明を捉える）
<ポイント> 先行技術調査の必要性を
実感してもらう

先行技術調査によって無駄をなくせる
先行技術調査によって、発明の把握ができ、
上位概念の発明を認識できる

2. 特許明細書の読み方

<ポイント> 読みにくいとの抵抗感を
無くしてもらう

特許請求の範囲の読み方（区切って読む）

明細書の読み方：部分読み

公開公報を実際に読んで、
部分読みの感覚をつけてもらう

3. 権利範囲の考え方

<ポイント> 侵害の考え方を身につけてもらう
独立請求項と従属請求項の権利範囲
権利一体の原則

（全ての構成要件を満たした場合だけ侵害）

権利侵害の考え方

4. 特許明細書の活用

（権利侵害でなければ活用できる）

<ポイント> 実例を通して活用の考え方を
体験してもらう

権利侵害か否かの判断

権利侵害を起こさない改良案を考えてもらう。

※ セッションⅠのみのご参加も可能です。
詳細は表面をご確認ください。

17:00

セッションⅡ <特許明細書の書き方に関する“押さえるべきコツ”について解説>

研究者・技術者のための特許明細書の書き方 入門講座

記載すべきことと記載してはいけないこと…ほか 実務で迷わない基礎知識とノウハウを学びます

7月1日
(金)

13:00

【講師よりコメント】特許出願は、業務上の義務に過ぎないとの考えは一昔前の認識です。自らの発明に気づき、発明を自らの手で育て上げることが、研究者・技術者自身の大きな財産となることに早く気がついて欲しいと思っています。発明提案書または特許明細書の作成は、創造活動そのものだという事に気がつけば、大発明を産み出すことにもつながると信じています。本セミナーでは、研究者・技術者の立場で、強い特許明細書作成に必要な基礎知識とノウハウについて、具体事例を用いて解説します。

1. はじめに

- (1) 我が国の目指す方向
- (2) 特許査定率の変化

2. 出願書類作成の前段階

- (1) 顕在化していない発明発掘の5つの手法
- (2) 不可欠な特許調査
- (3) 他社特許回避からも生まれる発明
- (4) 特許公報の検索（技術分類の活用）

3. 特許出願から特許査定までの流れ

- (1) 特許出願の流れ
- (2) 出願から審査請求までの留意点
- (3) 拒絶理由通知への対応ノウハウ
- (4) 公開公報と特許公報のタイミング

4. 明細書作成にあつての前提

- (1) 発明を記載する書類
（特許請求の範囲、明細書、図面、要約書）
- (2) 満たすべき法律的要件とは？

5. 特許請求の範囲の記載

- (1) 形式の異なる表現方法
（独立請求項と従属請求項）
- (2) 権利範囲の考え方の原則
- (3) 権利範囲の考え方の例外
- (4) 請求項を複数作る意味は？

6. 技術内容の表現（日常表現との相違点は？）

- (1) 日常表現の曖昧さ
- (2) 意外と知らない曖昧表現

7. 明細書に記載すべき項目

- (1) どんな項目を記載しなければならないか
- (2) 重要な項目と手抜きできる項目

8. 明細書には何を何処まで詳細に記載すべきか

- (1) 住所論 (2) 美人の定義論 (3) 天秤論
- (4) 双子の姉妹論 (5) 比較級最上級論

9. 明細書記載にあつての留意点

- (1) 多くの実施形態を記載すべき？
- (2) 複数の実施形態を記載する上での留意点
- (3) ノウハウは記載すべきでない？
- (4) 記載すべきことと記載してはいけないこと

10. 判例から考える明細書作成上の重要ポイント

11. その他の重要ポイント

- (1) 広い強い権利をとるために重要なポイント
- (2) 先行特許調査の意義と調査手法
- (3) 弁理士の能力を有効に活用するには

※ セッションⅡのみのご参加も可能です。
詳細は表面をご確認ください。

17:00